

6-4 4/5時の指導計画

(1) 目標

- ・ 故事成語の基になった漢文を知り，古典には様々な種類の作品があることを理解することができる。
- ・ 故事成語の基になった漢文に表現された内容に関心を持ち，故事成語の意味に合う出来事を自分の生活と結び付けて考えようとする。

(2) 展開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は，本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導入	<p>1 学習計画表で前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 本時の目標を確かめる。</p>	<p>学習計画表 ワークシート③</p>	<p>◆数名の生徒作品を教材提示装置で投影して解説し，故事成語の意味に合う出来事をかくことについて理解を深めさせ，本時の学習に見通しをもたせる。</p>	
<p>故事成語に合う出来事を考えて，起承転結の構成に沿った文章や4コマ漫画をかこう</p>				
展開	<p>3 資料集や国語辞典などを用いて，いろいろな故事成語について調べる。</p> <p>[手順]</p> <p>1) ワークシート④の故事成語について資料集や国語辞典で調べて，故事や基になった漢文などを読む。</p> <p>2) 文章や4コマ漫画にかく故事成語を決める。</p>	<p>資料集 国語辞典 ワークシート④</p>	<p>○ワークシート④で示した故事成語について，その基になった故事を並行読書によって調べたり，読んだりしたかどうかを確かめる。</p> <p>○故事成語の基になった故事のような体験をしたことがないかを考えながら，また，起承転結の構成にあてはめながら読むように促す。</p> <p>○自分の生活を想起させるような故事成語から選ばせる。</p>	<p>【言①】 故事成語の基になった漢文を知り，古典には様々な種類の作品があることを理解している。</p> <p>【観察】 【ワークシート④】</p> <p>様々な故事成語について，その基になった故事や漢文及び関連の図書を読んでいる状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> <p>生徒の日常生活から類推して，該当する体験が思い浮かぶような故事成語を選んでその意味や故事を読ませ，古典には様々な種類の作品があることを実感させる。</p>

展 開	<p>4 選んだ故事成語について、起承転結の構成に沿った文章や4コマ漫画をかく。</p> <p>5 かいた作品を読み返し、故事成語の意味と合っているか確かめ、推敲をする。</p>	ワークシート⑤	<p>○起承転結のコマ割りなどが適切かどうか考えながら読むように指示し、分かりやすくさせる。</p> <p>○かき上げた生徒には、他の故事成語についてもかいてみるよう勧める。</p>	<p>【関①】 故事成語の基になった漢文に表現された内容に関心を持ち、故事成語の意味に合う日常生活の出来事と結び付けて考えようとしている。</p> <p>【観察】 【ワークシート⑤】</p> <p>故事成語の基になった故事の内容を理解し、故事成語の意味に合う出来事を文章または、4コマ漫画にかいている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> <p>学校行事や他教科の学習における経験などから、故事成語にあった場面を具体的に例示し、自分の生活と似ているものについてかかせる。また、生徒のよく知っている物語や漫画などの出来事から故事成語に合うものをかくよう促す。</p>
ま と め	<p>6 学習計画表の「自己評価」の欄に本時の自己評価に合った顔マークを書き、「学んだこと(学習のまとめや感想)」を書いて本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の「目標」と「学習活動」を確かめ、見通しをもつ。</p>	学習計画表	<p>○初めて知った故事成語や、印象に残った故事成語について「学んだこと」の欄に記入させる。</p> <p>○次時はグループで読み合い、グループの代表が、全体の場で発表することを確認する。</p>	